

☆交流サロン ～当事者・家族・だれでも気軽に立ち寄れる場所～ を開設しています。

《よつば》 開催日 毎月 第2・4水曜日 13:00～16:00

会場 鳥取市さわやか会館 相談室

対象者 精神障がいのある人の家族 他

主催 鳥取市精神障がい者家族会

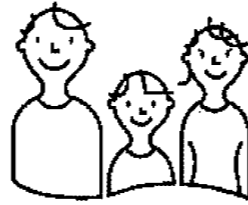
《キコロ》 開催日 毎月第1・3水曜日 13:00～16:00

会場 鳥取市さわやか会館 相談室

対象者 精神障がいのある人 他

主催 精神障がい者を支援する会「ベストフレンド」

*お問い合わせは…鳥取市保健所 心の健康支援室 電話(0857)22-5616



☆賛助会員募集～鳥取県家連の活動をご支援ください～

平素は県家連の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。当会は、一般の方にも賛助会員としてご支援いただき活動の大きな力とさせていただいております。

つきましては、引き続き多くの方に賛助会員としてご入会いただき、当会の活動を支えていただきたくお願い申し上げます。賛助会員の方にはご希望により年に4回発行の本紙をお送りします。

入会申込書は鳥取県家連事務局にございます。

申込みは随時受け付けておりますので、皆さまのご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

賛助会費(年会費)

個人会員:一口 500円

法人会員:一口 5,000円



1人で悩まず
お電話ください。精神障がい者家族相談ダイヤル

相談専用ダイヤル

★令和5年9月までの実施日★

7/6・20 8/3・17

9/7・21

090-3880-3498

毎月第1・第3木曜日

13:00～16:00

- ・相談は無料です。(通話料は別途かかります。)
- ・秘密は固く守ります。
- ・相談は匿名でもお受けします。



次号に掲載する地域情報をお寄せください。

鳥取県内の各地域で開催する精神保健福祉に関する講演会・研修会・福祉イベントや、単位家族会・各事業所・作業所からのお知らせなどの情報をお寄せください。

なお、紙面に限りがございますので、お寄せいただいた情報がすべて掲載できない場合もあります。ご了承ください。詳しくは下記の鳥取県家連事務局までご連絡ください。

令和5年9月～12月開催の

講演会・研修会・福祉イベント…



皆さんからの情報をお待ちしています。

編集後記

マスクが一層息苦しい季節がやってきました。とはいえ、いまだにマスクを外すタイミングがわからず、この夏も「暑い！暑い！」を連発しながら過ごすことになりそうです。

皆さん！こまめな水分補給と適度な休息で暑い夏を乗り切りましょう。事務局 岡嶋

☆「鳥取家族会だより」に対するご意見ご要望や精神保健福祉の情報など下記までお寄せください。家族会に関するお問い合わせもどうぞお気軽に！

鳥取県精神障害者家族会連合会事務局

〒680-0901 鳥取市江津318-1

鳥取県立精神保健福祉センター内

Tel 0857-21-3031 Fax 0857-21-3034

鳥取 家族会だより

[発行者]
鳥取県精神障害者家族会連合会
〒680-0901 鳥取市江津 318-1
鳥取県立精神保健福祉センター内
TEL (0857)21-3031
FAX (0857)21-3034

令和5年度 鳥取県家連総会報告

鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 田淵眞司

長い長いコロナ禍でしたが、ようやく日常が戻ってきました。今まで以上に諸問題に向かって邁進することができると期待するところです。

鳥取県精神障害者家族会連合会も、ようやく従来の姿で去る5月23日に倉吉体育文化会館で総会を行うことができました。

私は会長挨拶の中で、精神障がい者を取り巻く環境は「障害者差別解消法」の合理的配慮等の法律が制定されても現実には大きな差別のまま「不条理、不公平」が存在しています。今後、関係行政機関と綿密な連携を模索して、多方面へ働きかけたく考えている旨をお話させていただきました。

また、現在当会は近年の急激な会員数の減少により組織として今後に大きな不安を抱く状態になってきております。今年度は今まで以上に組織強化に力を入れていきます。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

総会では、提案された議題はすべて承認されました。

その中で、今年度は県補助事業の内容を一部改変致します。これまで毎年開催していた福祉研修会と関係者研修会を一つに統合し「鳥取県家連 心のけんこう研修会」として年に1回開催します。また、新規に「家族支援事業」を立ち上げそれぞれの地域に合わせた新しい視点での家族支援を行っていきます。今年度は、まずは準備期間としてどのように事業を展開するか検討を重ねていくことにしております。

総会に続いて3年ぶりに開催した家族会研修会は、先ほどの新規事業「家族支援事業」の説明を副会長の安達が行いました。事業の内容、考え方、企画の要点等詳細な説明がありました。

役員も一部交代して新しい布陣で本年度の計画遂行に邁進致します。

家族会の会員の皆様にも今まで以上のご協力ご支援をお願いして、総会の報告と致します。

令和5年度 主な活動計画

[会議]

- ・定期総会
- ・定例理事会<6回開催>
- ・三役会
- ・各種外部会議出席

[要望活動]

- ・行政への要望
- ・交通運賃割引推進運動

[県補助事業]

- ・鳥取県家連「心のけんこう研修会」<10/27 とりぎん文化会館>
- ・精神障がい者家族支援事業
- ・精神障がい者家族相談事業
- 家族相談ダイヤル<毎月第1・3木曜日>
- 精神障がい者家族相談研修会<4回開催>
- ・「鳥取 家族会だより」発行<年4回発行>
- ・若者向け精神疾患早期発見リーフレット配布(高校・中学校)



始めます！新しい家族支援

新規事業(県補助事業)

精神障がい者家族支援事業について

今、精神障がい者家族をとりまく環境も大きく変わってきています、家族の多様化や家族支援の在り方など、改めて見つめ直す必要があると検討を重ね新たな事業をスタートさせることとなりました。

この精神障がい者家族支援事業には2つの目的があります。

「情報収集と勉強会」

新しい視点での家族支援について鳥取県家連の果たすべき役割の検討

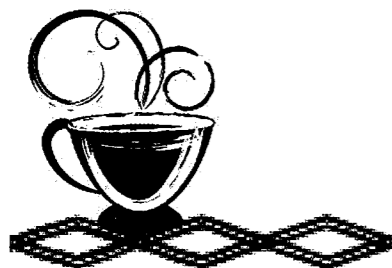
- ① 子ども・配偶者・きょうだいの立場の方々の実情を理解する。
- ② インターネットによる新しい家族支援の方法を知る。
- ③ 家族会の役割を再確認し、時流にあった家族支援の在り方を探る。

「集まりの場の開催モデルを作る」

違う世代の精神障がい者家族とつながり、家族支援の幅を広げる

- ① 家族自身の癒しの場となるようなサロン・イベント等の集まりの場の開催モデルを作り、一人でも多くの家族とつながる機会をつくる。
- ② イベントを通じて地域に家族会の存在を周知するとともに、住民等と交流することで理解者・支援者を増やし、さらに充実した家族支援につなげる。
- ③ 県家連の県補助事業として開催することにより、現在単会での活動ができない家族会に対して予算面での支援策となり、家族会活動の活性化につながる。

今期は特に「集まりの場の開催モデルを作る」に関して各地域の単会で集まりの場の開催モデルを試験的に試したいと考えています。最初は手探りのチャレンジ的な意味合いの場になるとは思いますが、それにより今までと違った家族の方や地域の方との関わりが少しでも出来ることを期待しています。また家族支援の在り方についても鳥取県家連らしい家族支援の可能性を見出すことが出来るよう努力してまいります。



文責：鳥取県家連副会長 安達 賢

事業所紹介

就労継続支援B型 夢工房こぼちゃん



平成28年3月、若年認知症の方と一緒に楽しい場所を作りたいという思いで、NPO法人回想療法センター鳥取を立ち上げ、同年4月に「夢工房こぼちゃん」を開設しました。

法人の目的は、誰もが生きがいを持って笑って暮らせる地域作りを目指すというものです。うちの特徴としては、職員の中に専門職ではないのですが地域の社会経験豊かな方が関わってくださっていることです。人生の専門職、異業種連携とでも言いましょうか、いろんな角度から見てくださる事で作業の幅が広がり、皆さんそれぞれの能力を発揮できる場所になっています。

現在利用者は19名、認知症の方だけでなく、身体、知的、精神、依存症の方など、年齢も19歳～77歳と幅広い年齢層の方が田んぼと山に囲まれたのどかな場所で一緒に働いています。多様な利用者を受け入れているのは、小さな社会の構図をつくるため、さまざまな人が集まっているからこそ出来ないことを補える関係が生まれてくる。職員はあくまでもコーディネーター、多様性と主体性を尊重することで満足度があり、毎日通える場所になっているのではないかと感じています。

うちの自慢？ よく聞かれるのですが、私はいつも「病院の受診以外、誰も休まないこと」と満面の笑顔で自慢しています。

障がいを理由に遠慮する必要もないので、地域の施設外の仕事はもちろんのこと、認知症の啓発活動、全国タスキを繋ぐリレー「らん伴」や地域のおしゃべりカフェ、世界アルツハイマー月間では若桜鉄道を貸し切り「オレンジ列車運行」等利用者が主役であるイベントを行っています。

孤立せず社会と関り続けた結果、昨年度より旧安部保育所を八頭町から貸していただくことになり、広々とした場所に移転することが出来ました。併せて、鳥取県からは「障がい者就労グッドサポート事業所」、八頭町からは「日本海新聞ふるさと大賞2022 地域貢献賞」をいただく事ができました。

高齢化が進む中「畑を鋤いて」「庭木を切って」「草取りを手伝って」等地域の高齢者から声がかかるようになりました。障がいがあるから受け身で終わるのではなく、自分たちの出来る事で社会の一員としての役割も出来、喜んでもらう事で生きがいに繋がっています。

今後は、地域の方から「こぼちゃんがあつて良かったね」と言ってもらえるような場所になれたらいいなと思っています。

PS:現在、鳥取県障がい者就労支援振興センターのYouTube に日々のこぼちゃんの様子があがっています。お時間があれば見ていただけたら嬉しいです。

夢工房こぼちゃん 小林 かやみ



八頭町の自然に囲まれた「夢工房こぼちゃん」



4月のお花見